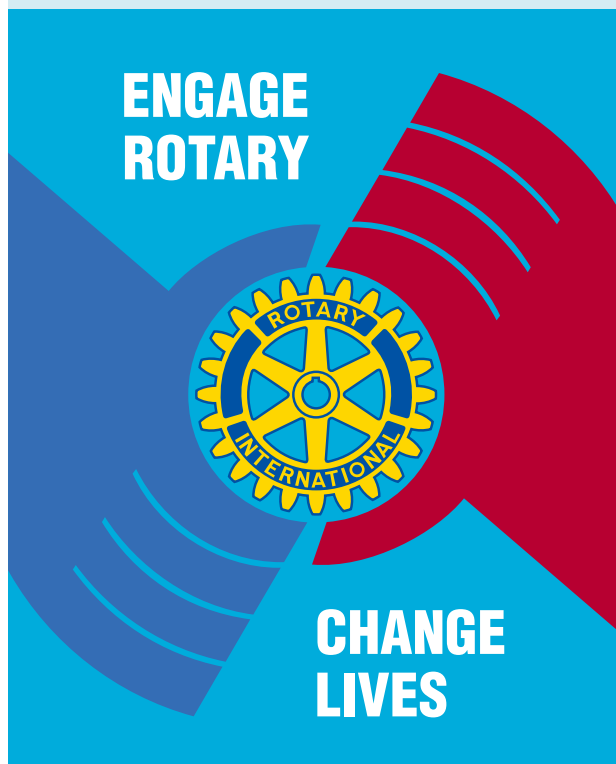


2013 – 2014
May
vol. 11

5



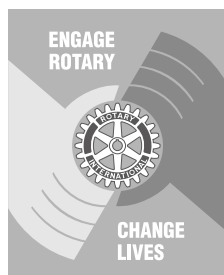
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信5月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014
**GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER**
May vol.11

CONTENTS

ガバナーメッセージ（米山セミナー）	1
国際奉仕委員長会議報告	2
青少年交換 東京研修報告	3
第7組IM報告	4
第8組IM報告	5
第2組IM報告	6
第6組IM報告	7
池田RC創立60周年記念事業	8
ガバナー補佐からのメッセージ	9
我がクラブの目指すところ（IM第8組）	10
災害支援プロジェクト報告（第34回）	14
米山奨学委員会／ロータリー財団	15
2014年3月度 会員数・出席報告	16
文庫通信	17
敬弔／お知らせ	18

米山セミナー

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



今年度米山記念奨学会への寄付金は、普通寄付5,000円、特別寄付25,000円をお願い致しました。昨年度より1万円のアップですから、地区米山奨学委員会の西谷委員長は2度にわたり皆様のクラブに説明文書をお届けし、ガバナー月信にも投稿されました。しかし私はそれでも皆様のご理解が十分とは言えないと感じておりました。そんな矢先、昨年10月5日に第2690地区の地区大会に参加の機会を得ました。この日私は感動的なプレゼンテーションを聞くことが出来たのです。

プレゼンテーションに立ったのは、プサコーン・ホンヨックさん(女性)でタイ米山学友会メンバーです。現在タイ国のパナソニック株式会社、代表取締役社長秘書であり部長をお勤めです。

彼女は高校の交換留学生として1991年来日し、1年間を過ごしました。その時のホスト・ファミリーご夫妻はとても素晴らしい方で、彼女のコミュニケーション力向上のため厳しく日本語を指導されましたが、彼女が帰国後わざわざタイを訪れて彼女に会い、日本の大学への進学を勧められました。結果として彼女は島根大学に入学し、猛勉強の末4年生の時に米山記念奨学生に選ばれたのです。彼女は大学卒業後、鳥根県横田町の町役場に勤めますが、横田町がタイと「そろばん交流」を始め、彼女はタイの子供たちへのそろばん導入に貢献し「そろばん大使」の役割を果たしました。彼女は米山奨学生となったお蔭でロータリーの例会に出席し、ロータリアンと交流するようにもなりました。その結果

社会人となるための様々な心得を身につけることが出来ました。そして今は、タイのパナソニックで要職についており、タイ米山学友会メンバーとなっていますが、詳しくは「ロータリーの友」2014年1月号32-33頁をお読み下さい。

彼女は米山奨学生となったことで、お金では買えない素晴らしい人間関係を築くことになり、大きく成長しました。彼女はホスト・ファミリーへの思いを熱く語り、聴衆が涙を流すほどの感動を与えたのです。私は「はっ」と気付きました。米山セミナーだ!! 我が地区でも米山学友を招いて、彼(女)らの感動体験を語ってもらう機会を作るべきだと感じたのです。米山セミナーは米山月間の始まる前に各クラブから3名程度は参加して頂き、米山記念奨学制度の成り立ち、これまでの実績などを参加者に伝えます。その上で、米山学友のプレゼンテーションを実施することで、米山奨学事業への理解を一段と深めて頂けるに違いないと考えました。

私は10月のガバナー諮問委員会にこの件をお諮りし、ご賛同を頂いたので、早速地区米山奨学委員会に、この件を伝えました。次年度は当地区では「地区米山セミナー」が9月6日(土)14:00~ OMMビル会議室にて催されることになっております(出席義務対象はクラブ会長様・幹事様です。新年度に入りご案内致します)。その成功を私は願って止みません。皆様のご協力とご理解をお願い致します。

第2回 クラブ国際奉仕委員長会議

地区国際奉仕委員長

栗原 大 (大阪フレンドRC)

日 時：2014年2月8日(土)

場 所：YMCA 2階 会議室

開会挨拶：ガバナー 福家 宏

2013-2014年度 事業報告：地区国際奉仕委員会 委員長 栗原 大

FVPにおける補助金の動向：地区財団補助金小委員会

地区補助金・グローバル補助金担当グループリーダー 四宮孝郎

クラブの国際奉仕について：各IM別バズセッション

2013-2014年度 国際奉仕基金 会計報告：地区国際奉仕委員会 糸川副委員長

講 評：ガバナーエレクト 泉 博朗

閉会の挨拶：国際奉仕部門 顧問 パストガバナー 横山守雄

2月8日に第2回クラブ国際奉仕委員長会議を開催させて頂きました。各クラブの現・次年度国際奉仕委員長総勢130名以上の皆様に出席頂き無事終了する事ができました。心より御礼申し上げます。

今年度はロータリー財団によるFVP初年度でしたが、予想以上のグローバル補助金の申請提出とTRFによる承認数でございます。当地区につきましては日本国内で初めて提唱クラブとして申請が承認され、年度内のプロジェクト完了に進んでいるところです。これは当地区内の国際奉仕活動がいかに活動的かを表しております。また地区補助金につきましても10クラブほど申請されており、次年度はその枠も広がる事から尚一層のプロジェクトが提出されるかと思われま

す。バズセッションでは各クラブの活発な活動についてIMごとに討論されました。IM内の近隣クラブであり

ながら活動内容を知る機会はこのような場面ではないと思われま

す。国際奉仕活動は各奉仕部門の中でも特に労力を有します。個人・クラブの資金・時間・労力が大きくかかる奉仕活動です。また相手国との情報交換も時間がかかり単年度や少人数のクラブではなかなか実行しにくいのが現状です。しかしそのフォローに地区委員会は存在致します。どのようなクラブも国際奉仕活動に積極的な想いをもち続けて頂いている限り私達は協力を惜しみません。クラブ単体で難しい活動はIM内及び第2660地区内クラブとの協力で奉仕活動を成功して頂ける事を一つの手段としております。

原点はクラブ主体となって活動し、そして会員各皆様へプロジェクトの成功の感動を体感して頂くことにあると存じます。



青少年交換 東京研修報告

青少年交換委員会 副委員長

磯田郁子 (大阪東淀ちややまちRC)

日時：2014年3月21日(金・祝)～23日(日) 2泊3日

場所：磯田副委員長、角谷委員、稲邑委員、金本前委員、来日学生5名、
派遣候補生4名、ROTEX5名(合計18名)

青少年交換委員会では毎年この時期に、外国から交換学生として来日している学生達に日本の首都である東京を実際に体感してもらうために東京方面研修旅行を行っています。これは公共交通機関や徒歩移動を中心とした街歩きをしながら国会議事堂や浅草などを見学、散策することにより日本への理解と関心をさらに高めってもらうことと来日生、派遣候補生、ROTEXの親睦と交流をはかることがその目的の1つです。

今年度の来日生5名(アメリカ3名、カナダ1名、フランス1名)は、来日したばかりの頃はほとんど話すことができなかつた日本語で、派遣候補生やROTEXメンバーと楽しく会話をしながら東京の町を興味深げに散策していました。日頃は高校に通い、日本語の勉強や数学、理科、社会などの授業に追われる毎日の来日生達もしばし、学校生活を忘れて楽しい数日を過ごしました。

1日目にはまず皇居付近を散策、きれいな桜や緑をバ

ックにたくさんシャッターを切っていました。次に国会議事堂の衆議院会館を訪ね、日本の議会システムの説明を受け会館内を見学、立派な大理石で作られた建物内を感心しながら眺めていました。

2日目は待望の東京ディズニーシーに行きました。当日は連休の中日とあって大変な混雑が予想されましたが、それほどひどい混雑もなくいくつかのグループに分かれてそれぞれが協力し合いながらアトラクションを楽しみました。

3日目は東京スカイツリー、浅草・浅草寺で観光し、3日間の行程を無事終えました。

今回の研修旅行では来日生、派遣候補生、ROTEXが打ち解け合い、終始仲良く話したり、ゲームをしたりする姿が多く見られました。6月末には帰国する来日生にとっては、日本でのすばらしい思い出の1つとして深く心に残ったことでしょう。



第7組インターシティ・ミーティング報告

大阪南西RC 会長 **小池廣子**

IM実行委員長 **小森敏鑑** (大阪南西RC)

テ ー マ：伝えよう奉仕、築こう絆 Service must go on!

ホストクラブ：大阪南西ロータリークラブ

日 時：2014年2月1日(土) 13:00～16:00

場 所：スイスホテル南海大阪「芙蓉の間」

参加者数：191名

出席者：209名(RAC20名、青少年17名含む)

私たち大阪南西RCが、IMのホストを務めるのは2回目です。

テーマの選定と講演会の講師の選定に時間がかかりました。テーマは現在の若者が人を助けたいという思いをもっている割合が高いという話を知り、若者と奉仕や支援活動について話し合い、ロータリーの活動を知ってもらい社会を少しでも良くしてもらおうと思い「伝えよう奉仕、築こう絆 Service must go on!」としました。幸いIM7組にはRCと志が同じのRACが3つあります。隼より始めよ、と声をかけたところ友人も含めて40名近く集まってくれました。

講師には小池会長の紹介で西成消防署長の木村忠彦氏に講演をしてもらいました。木村署長は、東日本大震災の時、大阪府消防隊の災害支援の隊長を務め、石巻の現場での救援活動を指揮され、後の福島第一原発への冷却水投入の作業も参加されました。署長は「大災害にそなえて～生き残るために～」と題して災害の悲惨さと自らの命を守るすべ、そして迫りくる南海トラフ地震への対策などの話をいただき、会場のすべてのロータリア

ン、青少年に感動と教訓を与えてくれました。

続いてのテーブルディスカッションは「今までの人生または、ロータリー活動で一番感動した事はなんですか」と「今日の木村署長の講演で、どの部分に感動、共感しましたか」のいずれかのテーマを各テーブルで議論していただきました。テーブルに2人の若い人たちが混じり、ロータリアンの経験、また若者たちの奉仕に捧げる熱い思いが語られ、短い時間でしたが会場はざわめきが沈黙に変わるという不思議な一体感がありました。会員にはRACの活動や若者の生の声が一般の若者にはロータリークラブの社会に対する真面目さが伝わったのではないのでしょうか。

閉会の挨拶のあとの手につないでの合唱にその息吹を感じました。

最後に今回のIMは7組各クラブの会長、幹事の皆様の協力がなければ成功することはありませんでした。改めて感謝申し上げます。特に難波RC、なにわRCの会員の皆様には受付や誘導などのお手伝いをいただき、熱い友情を一段と感じました。有難うございました。



第8組インターシティ・ミーティング報告

IM実行委員長

喜多敏明 (大阪平野RC)

去る3月1日(土)グランフロント大阪北館にて、テーマを“Live Talk on The Earth ~ロータリアンと学生の国際貢献~”として第8組インターシティミーティングを開催しました。当日は127名の参加を得ました。

開発途上国の現状を学ぼうと、国連ユースボランティアの学生たちが世界の各地で活動しています。そんな活動の現状をスカイプという通信手段を用いて、その学生たちの生の声を聞いてロータリアンの国際貢献のヒントを得ようと考えました。

立教大学、上智大学、東洋大学、明治大学、関西学院大学の皆さんとお話させていただきました。カンボジア、ネパール、フィジー、ルワンダ、ケニア、ボスニア、サモアでの生活の模様、仕事の内容、彼らが感じたいろんなことを聞くことになりました。IM8組の国際奉仕委員長の皆様にも、彼らに直接質問をしていただきました。

言葉の大切さ、習慣の違い、各地で起こる紛争など興味深い話が聞くことができました。現代の若者は云々という声が聞こえますが、こうやって頑張ってくれている若者がいることを誇りに思い、ロータリアンの奉仕活動についてもいろいろと考えさせられる場面がたくさ

んありました。

コーディネーターとして関西学院大学の關谷武司教授にお願いをいたしました。また元駐ドイツ大使で現在関西学院大学副学長、神余隆博様、国連ボランティア計画職員の梨本篤司様にもお話をいただきました。関西学院大学の学生さんたちには企画段階から協力いただきました。

關谷教授とのつながりは3年前の東北大震災にさかのぼります。一人のクラブメンバーが關谷教授の生涯学習の授業を受けたことが始まりです。学生さんたちの支援活動を聞き、当ロータリークラブが協力を申し入れたのです。南三陸の子供たちと運動会や社会見学の支援活動を共に行いました。また關谷教授の世界市民論の授業で、当クラブの世界社会奉仕の現状をお話しする出前授業も3回、実現いたしました。そんな繋がりのおかげで今回の企画が出来上がりました。

開発途上国の電波状況に不安をいさながら取り組んだ手作りのIMでした。多くの皆さんの協力に感謝し、最後までたくさんのロータリアンが残って熱心に討議いただいたことに重ねて御礼申し上げます。



第2組インターシティ・ミーティング報告

IM実行委員長

掛谷建郎 (茨木RC)

テーマ：震災を風化させない

北摂の12クラブで構成する第2組は3月8日、茨木市市民総合センターで、インターシティ・ミーティングを開催しました。「震災を風化させない」をテーマに、陸前高田市の戸羽太市長から「陸前高田市の被災状況と今、そして復興へ」と題する講演をいただきました。

戸羽市長は東日本大震災で甚大な損害を被った同市の状況や復興を遅らせている要因、目指しているまちづくりについて、具体例を示して話されました。陸前高田では市民の7%強にあたる1800人近い方が亡くなられたり行方不明になられたりしています。

復興の遅れについて、市長は法令の手続きの煩雑さや官庁の硬直的な対応、省庁間の縄張り争いなどが障碍になっていると指摘、「政府は被災地の立場に立ってほしい」と強調されました。陸前高田では瓦礫処理に2年を費やし、災害公営住宅など行政が関わる家はまだ一軒も建っていません。

今後については「ノーマライゼーションという言葉が必要のないまちにしたい」と語られました。「震災後、社会的弱者になった我々は多くの人に支えられた。今後

は高齢者や障がい者などが健常者と変わらずに住めるまちにしたい」とのことです。

市長は最後に「震災後3年たち、我々も自立する必要がある。今後は『支援』ではなく『応援』してほしい」と述べられるとともに、親をなくした子供たちが多くいることに触れ、「彼らが夢を追いかけられるよう応援してほしい」と締めくくられました。

IMでは12クラブの震災支援活動をパネル展示し、各クラブの交流の場としました。復興を応援するため、陸前高田の支援グッズを記念品として配りました。また陸前高田で大学生がボランティア活動をしている追手門学院(茨木市)の中学生による「大切なふるさと」(上田益作)の合唱など多くの方々のご協力を得ました。戸羽市長には翌朝の追悼式を控えた厳しい日程を縫ってお越しいただきました。

講演に先立ち、福家宏ガバナーからは「今日のIMをひとつの節目として今一度復興支援のための奉仕活動を実現しなければならない」とのご挨拶をいただきました。今回のIMがその一助になればと願っております。



第6組インターシティ・ミーティング報告

大阪東淀ちゃやまちRC
会長

大澤一雅

IM実行委員長

前田要之助 (大阪東淀ちゃやまちRC)

テーマ：「見つめ直そう日本の心」～式年遷宮とお伊勢参り～

ホストクラブ：大阪東淀ちゃやまちロータリークラブ

日時：2014年3月15日(土) 13:00～17:00

場所：ホテル阪急インターナショナル

参加者数：211名

「見つめ直そう日本の心」～式年遷宮とお伊勢参り～をテーマに今年度IM第6組はインターシティミーティングを開催しました。福家G、泉GEはじめ多くの皆様にご参加いただけたことを大変うれしく思います。

皆様もよくご存じのように昨年は20年に1度行われ、1300年の長きにわたり続けられている伊勢神宮の式年遷宮の年でした。この式年遷宮の意義と意味を現代の視点から捉え直し、日本の叡智の奥深さを探るきっかけとし、今後の皆様のロータリー活動をされる上でのヒントとなるものがあればという願いで開催いたしました。

基調講演では皇學館大学文学部教授・櫻井治男先生にわかりやすく丁寧に「伊勢神宮の式年遷宮ー日本の来し方と行く末を見つめて」というテーマでお話をいただき、続けて皇學館大学文学部教授・岡田登先生に「伊勢信仰とお蔭参り」というテーマでユーモアを交えたお話をしていただきました。

第2部ではお伊勢さんまで落語会を開きながら歩いて行かれたという落語家・桂文我さんにお伊勢さんまで歩かれた時のおもしろいエピソードなどを伺い「伊勢

神宮上神賑」という落語をご披露いただきました。

その後、櫻井先生、岡田先生、桂文我さんによる鼎談でさらに式年遷宮に対する理解を深めることができました。

一見、ロータリーとは結びつかないようなテーマでの開催でしたが、参加していただいた方からは「伊勢神宮に改めて参拝したいと思った」「桂文我さんの巧みな司会で鼎談が非常に興味深かった」などと言った高評価を頂戴し、ホストクラブとしてほっと胸を撫で下ろしています。

インターシティミーティング終了後は懇親会を同ホテルで開催し、多くの皆様にお残りいただき楽しく懇親を深めることができました。この懇親会はIM第6組のロータリアンが交流するよい場となったと感じています。

開催に当たりご協力いただきました皆様に深く感謝を申し上げインターシティミーティングのご報告いたします。



池田ロータリークラブ創立60周年記念事業 「五月山ふれあい動物園」 入場ゲート寄贈

池田RC 会長

田嶋也寸志

3月21日、気持ちよく晴れ渡る五月山公園で、池田ロータリークラブ創立60周年記念事業として「五月山ふれあい動物園」入場ゲートの寄贈式が行われました。

五月山動物園は「日本一小さな動物園」として多くの家族連れの皆さんに親しまれてきました。このたび、園内のスペース約1500㎡を拡張し、子どもたちに親しみのある「三びきのこぶた」や「三びきのやぎのがらがらどん」など、童話をテーマにしたゾーンを設け「ふれあい動物園」として整備されました。

「三びきのこぶたゾーン」では、子どもたちがミニブタショーなどのイベントを通じて動物にふれあうことができます。このたび動物たちを身近に感じる「世界一ハートのある動物園」としてリニューアルされ、さらなる人気のスポットとなりました。

寄贈式当日は、動物園に隣接する公園に設けられた「忍者の砦」のオープニングセレモニーも開催され、多く

の子どもたちで賑わいました。

入場ゲートの寄贈が決まってからは、クラブ全員でゲートのアイデアを出し合い、最終的には4つの案の中から、「世界一ハートのある動物園」のキャッチフレーズにちなんで25個のハートが散りばめられたデザインと決まりました。また、ゲート越しに阪神高速道路池田線新猪名川大橋、通称「ビックハープ」の美しい姿も見える場所に設置するために現場で何度も打ち合わせをおこないました。

計画当初より、春休みや桜のシーズン前のこの時期に完成時期を目標におき、予定通り完成することができました。市民の方々の評判も上々です。会員全員で協力してひとつの事業を成し得た、ということで池田ロータリークラブとしても今後の活動に自信を持つことができました。これからも、この入場ゲートが動物園に訪れた方の思い出作りに役立つことを願っています。



[ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来について

IM第8組 ガバナー補佐

新見 葵 (大阪天王寺RC)



地区の大きな行事として、毎年「地区大会」とIM(インターシティミーティング)の二つがあります。

とりわけ、IMは、各組の近隣のクラブが年に一度勉強会に一同に会し、情報の交換、又、親睦を深める重要な場であります。

私もこの一年、他のIMに参加し、色々と勉強させて頂きました。その内容は、テーマを決め、そのテーマに精通しておられる講師を招き、ご講演を頂いた後、パネルディスカッション或いはテーブル毎のバズセッションという形式のものが多かったと思います。他のガバナー補佐さん方もおっしゃっておられますように、IMはあまり形式にとらわれる必要はないと考えています。

只、どのIMを拝見させて頂いても、ホストクラブさんが一所懸命、一年以上かけ、計画、立案、実行されていく中で、「大変ご苦勞されてきたのだなあ」ということが、手に取るように実感されました。

それは、近隣のロータリアンが参加され、一人でも多くの方に「参加して良かった」「今日は有意義な一日だった」という思いを感じて頂きたいからだと思います。

こういう観点から見れば、例年参加者が少ないのが気になります。

今後は、地区、組、各クラブをあげて、開催されるIMの内容について、周知、PRを工夫していただき、一人でも多くの方々が参加されますことを願っております。

我がクラブの目指すところ (IM第8組)

大阪平野RC 会長

三野久光

当クラブは4年前の35周年に、40周年に向けた活動指針として「未来に翔く若者に夢と希望を」掲げ、4年間やって参りました。特に、ラオス大学に奨学基金を設立し、学業を続けられない学生を支援してきました。

今年度は平成26年3月1日にグランフロント大阪にてIMを当クラブホストにて行いました。Live Talk on the Earth ということで、国際ボランティアとして活動中の学生諸君とスカイプで話をするという企画でした。若い学生諸君の嬉しい取り組みをうれしく思い

ました。

また来年度になりますが、本年10月10日～12日は秋のライラをホストクラブとして開催すべく、現在準備しております。これらの活動は我クラブの5年間の上記活動指針に合致したのものとして、積極的に取り組んでおります。

そして来年2月に迎える我クラブの40周年記念式典の準備も併せて行っております。これらについても皆様のご協力をお願い申し上げます。

大阪イブニングRC 会長

松浦克巳

私どものクラブは現在会員が14名です。やりがいと家族のような団結力はありますが、1人の負担が多いのが現状です。もちろん会員増強は必須と考えています。早々に会員増としたいです。

現状としては各人がリーダーシップを発揮する少数精鋭でなければなりません。そのため社会奉仕、国際奉仕などでは姉妹クラブや友好クラブそして地域の方々に協力して頂いています。

米山奨学生の受入ではクラブ活性化につながる機会

を得られました。少数ながらもアイデアを生かした方法で奉仕活動を進める。活動の伝達でロータリーに関心を得られるよう、広報活動も活発に進めたいです。

ロータリークラブの会員だからこそ出来ることが沢山あります。そして活動によって沢山の方々と交流もてます。

今後もその活動を通してクラブ生活が楽しい、充実していると全員が実感するような魅力的なクラブを目指しています。

大阪城南RC 会長

永井正美

大阪城南ロータリークラブは今年5月30日、創立45周年を迎えます。

その節目の年度にあり会員の年齢層も70歳以上が半数近くを占め、60代が残りの過半数を占めるという高齢化、しかもパスト会長が17名を数える中で、如何に老・壮・青のバランスが取れるかをテーマに苦心致しました。その結果、会員歴は浅くとも元気の良い会員に要職に就いて頂きました。

世の中が混迷し激変する今時において、ロータリーだけが特別である訳もなく、変わらねばならない部分は大いに革新してレポリューションを目指したいと考えております。

その為には、何と云っても例会に参加することが楽しいと思える例会に、更には我がクラブが45年に亘って育ててきた古き良き伝統を引き継ぎながら品位あるクラブを目指します。

大阪咲洲RC 会長

長元良二

大阪咲洲RCは、1995年10月11日に大阪住之江RC(現 帝塚山RC)がスポンサークラブのもと創立し、RI承認日は1995年10月31日です。今年で創立19年目を迎えることが出来ました。

創立時の会員数は33名、現在は、会員数18名のクラブです。第2660地区の中でも少人数のクラブですが、少人数クラブはクラブで良い所もたくさんあります。理事・役員等ほとんどすべての会員に役割が毎年もれなくあたります。それゆえ何事も全員参加・全員協力が基本です。しかしこれを達成するためには、日頃の例会が大切です。

ロータリー四つのテストのもと会員相互に好意と友情を持ち、品位と礼節を尊びユーモアに溢れている、そんな例会を積み重ねることによって一体感は生まれて

くるものだと思います。また、ロータリークラブを理解しお互い親近感をもって活動していくことが、しいては新会員の入会意思に大いに影響するものだと考えております。

少人数のメリットがあるとは言えやはりクラブ活動を無理なく・幅広く運営するには会員の増強が急務でございます。積極的に増強活動し、志を同じくする仲間をもっと増やさなければならないです。会員が多いほどより内容のある、幅広い奉仕活動等が実現できると考えております。

これからも多岐にわたり趣の違う例会や奉仕活動や親睦活動を企画し、会員の知人・友人の皆様に参加して頂き、クラブへの理解と親近感を深め入会したいクラブ作りを全員参加で目指していきたくと思います。

大阪天王寺RC 会長

谷野清孝

私の今年度の方針は「奉仕活動を実践し、みんなでつくる仲よしクラブ」であります。4年前、我がロータリークラブは、大阪阪南ロータリークラブと旧大阪天王寺ロータリークラブが合併し出来たクラブであります。

合併時、雰囲気・性質の違うクラブの会員がうまく交わるかという心配をよそに、さすがロータリーという名のもと、会員全員が奉仕活動に積極的に参加し、協力し合っていたことに安堵致しました。しかし、もっと充実した活動を行うに当たっては、今までのように例会に出

席し、挨拶と卓話を聞いて帰るというだけでは前進しないと考えます。会員が楽しいクラブライフだと認識することにより新入会員の増強にもつながると思います。

そのため、親睦活動(家族会、炉辺会合、夜間例会、そして囲碁・ゴルフ同好会)を重点に取り組み、会員相互の和を図ることにより充実したクラブ活動が着々と出来るのではないかと感じています。末期も仲よしクラブ員全員とタッグを組んで奉仕活動に向かって進んでいきたいと思ひます。

大阪帝塚山RC 会長

片山一步

当クラブは2011年5月20日に、大阪阿倍野、大阪住之江、大阪住吉の3つのクラブが合併したクラブで、今年度で3年目です。3つのクラブが合併したのは異例で、その動向は注目されているのではないかと思います。

合併に際して「クラブのこれまでの文化の違いでうまくいかないのでは？」とか「人数が大幅に減少するのでは？」などと懸念されていました。

しかし、会員一人当たりの「会費」負担や「活動」負担が増えることから「辞めないで」という危機せまる退会防止から開放され、楽しいクラブライフとなりました。

また、会員増強についても「会員数減少でつぶれそうなので、なんとかクラブに入って」といっても誰も入会しないものです。「いつでもロータリーに入れる」という

ロータリーブランドの安売りもなくすべきです。楽しいクラブであれば、自然と増強できるものと信じております。

親睦から奉仕がうまれるという観点から、本年度は活動方針の基本は、FUN! FUN! FUN!と、ロータリーを楽しむという親睦に重点を入れてまいりました。

次年度には、当クラブの泉博朗会員を地区ガバナーとして輩出することから、本年度はその準備もあり、特別なイベントを計画してまいりませんでした。その分、次年度の地区活動において、クラブあげて頑張りたいと思います。

何事も抜本的に見直して、自己改革のできるクラブとなるよう目指してまいります。

大阪東南RC 会長

杉浦勝昭

大阪東南ロータリークラブの会長となって今更ながらに気がついたことは、ロータリークラブはそれぞれが独立した存在であるということ、自立した存在であるということです。

それぞれのクラブが独自の歴史を持ち独特の個性を持っていること、構成員の人数や年齢や性格によってまったく異なったやり方・雰囲気で運営されているということ、自立して自律してやっていかなければならない、誰も手助けしてくれないし誰も我がクラブに最適なアドバイスは行うことができないという当たり前と言えれば当たり前のことを強く了解できました。

その点から言えば、大阪東南ロータリークラブは現在楽しくまたスムーズに運営されています。会員数が50人くらいで、少な過ぎもせず多すぎもせず、雰囲気や活動状況においても中の上といったレベルではないでしょうか。

今年のテーマとしては「輪」(ネットワーク)を広げるということから会員増強に重点をおいています。まずクラブを知ってもらうことから「ゲストデイ」で外部の知り合いを例会に招待するを行いました。「和」を深めるといった観点からは元会員に声をかけ再入会も視野に入れて交流を図ろうとしています。会員増強はおそらく永遠のテーマでありまた時間のかかる活動であるので今年一年で終わるのではなく毎年繰り返しやっていかねばならないことでしょう。できれば60から70くらいの会員数が適正規模ではないかと考えている。お互いが親しくなれ、例会出席率が60-70%でも例会場が賑やかで楽しく運営できるのではないかと考えるからです。

2015年11月26日に30周年を迎えることになりましたが、会長エレクト、会長ノミニーを中心に30周年を楽しく迎えるための準備を始めています。

大阪アーバンRC 会長

寺内俊太郎

当クラブは、2011年12月8日に創立総会を開催し、12月末に認証を受けました。その後2012年2月6日に加盟認証伝達式を関係各位のご指導下、ホテルグランビア大阪で開催しました。

当クラブの設立主旨は、2011-12年度のカルヤンR I 会長の強調事項「変化」についての次の言葉が根本となっています。

- 1.ロータリーの核心は変化です、もし現状に満足してるなら、何故ロータリアンになる必要があるのでしょうか？
- 2.自分自身の中に変化をおこし、自分自身がその変化の担い手とならなければなりません。

この強調事項が当時第2660地区のR I 理事 近藤雅臣氏、岡部泰鑑ガバナー、特別代表顧問 横山守雄バストガバナー各位の強力なご意志と御決断で、第2660地区に久方振りに新しいRCが誕生することになりました。

これらの設立目的・主旨を背景に新しい会員28名の選定と活動目標を具現化し、活動を開始しました。

その活動目標は「クラブ設立に伴う5つの基本方針」として、以下に掲げる項目であります。

- 1.親クラブを持たない、スポンサークラブが付かないで当面はガバナー直轄のクラブとする。
- 2.会員の経済的負担を既存市内クラブの1/3程度に下げる。
- 3.会員の業務に時間的な負担を少なくするためにモーニング例会とする。
- 4.クラブ運営と活動は会員主体で行い、事務局を置かない。
- 5.会員間のコンセンサスは電子メールで緊密な連絡を保ち、親睦を深め、クラブ活動を推進する。

これらの経緯を基本とし、今年で3年目を迎える生まれ経ての新米クラブであります。

今後2~3年間はまだまだ先輩RCの活動のお荷物になると思われませんが、今後も変わらずに、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

大阪みおつくしRC 会長

中島 武

当クラブは昨年4月16日に国際ロータリーより認証をうけて、まだほやほやの1年生です。

創立当初は私以外ロータリー経験なしの会員のため、毎週の例会はとにかく回数をこなせばどうにかなるという現状でした。

現在、29名中60歳以上は7名で、あとの22名は30~50代という若さで現役バリバリのビジネス中心の女性会員が多いのが特徴です。会員増強も今年に入り毎月

1名新入会員を迎えていますので5月、6月で2名を予定しています。

クラブ方針は親睦を重点として何事も全員で行動するようにしていますので、親睦をはかれば自然と奉仕につながると思います。

沢山の先輩クラブに学ぶことは多々ありますが、焦らずにコツコツと確実にロータリーを実践し進んでいくよう努力してまいります。

災害支援プロジェクト報告 (第34回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2014年4月14日現在)

【収入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
1	前月からの繰越	3,623,063	
32	利息	397	
33	茨木RC	50,000	
	合計	3,673,460	

【支出】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
13	大阪鶴見RC 震災学習テキスト制作プロジェクト	297,780	
14	送金手数料	100	
	合計	297,880	

【残高】

(単位:円)

預金残高	3,375,580	2014年4月14日現在
------	-----------	--------------

3. 災害支援の報告

プロジェクト概要

プロジェクト名：震災学習テキスト

「奇跡の集落吉浜～次世代につなぐ津波石の教え～」制作プロジェクト

実施地区：気仙地区(大船渡市、陸前高田市、住田町)

実施期間：2014年4月～

受益者：地域の小学校、中学校や図書館、震災学習のためにこの地区を訪れる人々

概略：本プロジェクトは、吉浜地域が長い間培ってきた津波伝承の記録を1冊の本にまとめた「震災学習テキスト」を制作し、地域の小・中学校や図書館、また震災学習のためにこの地を訪れる人たちに読んで頂き、吉浜の貴重な震災の記録を次代に伝承しようとするものです。

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2014年 2月末	全国寄付金合計額	1,068,553,081円	(前年同期比1,217万円増)
	第2660地区寄付金合計額	67,784,750円	(前年度比9.83%増)
	全国寄付合計トップ10		
		1. 第2650地区	74,967,767円
		2. 第2660地区	67,784,750円
		3. 第2750地区	65,639,952円
		4. 第2760地区	57,893,545円
		5. 第2590地区	55,395,930円
		6. 第2770地区	52,694,950円
		7. 第2580地区	46,927,650円
		8. 第2820地区	39,028,500円
		9. 第2780地区	37,858,570円
		10. 第2620地区	35,604,978円

米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2014年2月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
山本 恵真	2	新大阪RC	小川 嘉誉	5	大阪西南RC	田中 潤治	8	大阪西北RC
加納 晴彦	4	大阪城北RC	笠井 文雄	6	大阪西南RC	高林 辰行	9	大阪西北RC
弓削 要	5	大阪城北RC	大谷 透	7	大阪西南RC	西村 暲	9	大阪西北RC
津田 良樹	1	大阪西南RC	三宅 有	2	大阪西北RC	小山 登	2	大阪西北RC
梅本 禎親	3	大阪西南RC	妙中 茂樹	3	大阪西北RC	原野 圭司	17	大阪帝塚山RC
増田 國次	3	大阪西南RC	福光 一七	4	大阪西北RC	村上 高兒	3	大阪帝塚山RC
山口 一儀	3	大阪西南RC	尾下 千明	5	大阪西北RC	若林 紀男	21	大阪東RC
高澤富士子	4	大阪西南RC						

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2014年2月)

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
鑄方 貞了	新大阪RC	吹田 康雄	大阪西南RC
荻原美津子	大阪西南RC	梅本 禎親	大阪西南RC
清水 高士	大阪西南RC		

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2014年2月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
地壽 剛史	1	豊中千里RC	葉田いつの	1	大阪西南RC	高谷 晋介	3	大阪西南RC
大橋 融	1	新大阪RC	志方 邦弘	2	大阪西南RC	四宮 孝郎	3	大阪西南RC
西村 啓三	2	東大阪中央RC	小田 眞弘	2	大阪西南RC	太田 敏一	1	大阪西南RC
林 考信	2	東大阪中央RC	森下美恵子	2	大阪西南RC	露口 佳彦	5	大阪西南RC
沖中 栄子	1	大阪西南RC	古里 龍一	4	大阪西南RC			

2014年3月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	3月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	37	38	2	1	0	1	4	73.61	63.89
	池田くれは	28	30	1	2	0	2	4	83.16	78.75
	箕面	25	28	2	3	0	3	4	83.00	74.50
	箕面千里中央	21	23	0	2	0	2	3	94.37	92.29
	豊中	45	46	4	2	1	1	3	84.21	75.15
	豊中南	28	29	2	2	1	1	4	80.31	75.46
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	1	1	0	2	66.67	61.11
	豊中千里	39	37	3	1	3	-2	4	85.19	77.40
	小計	243	251	14	14	6	8		81.32	74.82
	I M 第2組	茨木	25	27	3	2	0	2	4	93.08
茨木東		39	40	4	2	1	1	4	77.14	64.36
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	87.50	75.00
千里		38	39	0	1	0	1	4	83.98	74.76
千里メイプル		22	22	2	1	1	0	4	95.29	88.24
摂津		37	37	2	0	0	0	3	83.46	73.16
吹田		60	60	10	3	3	0	4	95.34	85.98
吹田江坂		34	33	2	0	1	-1	4	98.33	88.30
吹田西		47	50	2	3	0	3	4	100.00	89.40
高槻		51	50	6	1	2	-1	4	89.05	79.81
高槻東	36	38	2	2	0	2	3	96.36	89.13	
高槻西	20	21	0	1	0	1	4	97.62	70.24	
小計	437	445	39	16	8	8		91.43	79.98	
I M 第3組	大東	42	42	0	1	1	0	4	97.83	91.25
	大東中央	28	29	11	1	0	1	4	75.98	70.18
	枚方	40	42	0	8	6	2	3	95.81	84.89
	門真	30	32	6	3	1	2	4	91.15	75.81
	交野	32	35	1	3	0	3	4	72.94	72.21
	香里園	15	16	0	1	0	1	4	87.50	71.88
	くずは	52	52	0	2	2	0	3	82.50	64.82
	守口	42	42	4	0	0	0	4	83.27	72.91
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	83.34	77.78
	寝屋川	42	42	5	1	1	0	3	90.48	80.95
四條畷	12	12	0	0	0	0	4	97.73	97.73	
小計	362	371	31	20	11	9		87.14	78.22	
I M 第4組	東大阪	70	74	0	5	1	4	4	86.34	79.57
	東大阪中央	33	30	0	0	3	-3	4	87.32	84.50
	東大阪東	55	61	4	6	0	6	3	83.33	63.34
	東大阪みどり	30	27	0	0	3	-3	3	81.48	66.67
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	5	96.98	71.01
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	3	94.03	86.93
	大阪ネクスト	19	18	7	0	1	-1	4	73.61	52.78
	八尾	60	60	0	2	2	0	4	74.68	74.20
	八尾中央	16	16	0	1	1	0	2	87.50	78.13
	八尾東	26	26	1	0	0	0	3	83.98	62.52
小計	370	375	14	16	11	5		84.93	71.97	

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	3月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	50	6	6	2	4	4	91.50	77.15
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	4	88.33	80.00
	大阪北	197	191	0	9	15	-6	3	77.44	63.70
	大阪北梅田	50	52	4	4	2	2	5	72.66	63.67
	大阪西	75	76	0	2	1	1	5	86.56	81.00
	大阪大淀	36	39	0	3	0	3	4	92.75	81.16
	大阪リバーサイド	34	36	6	4	2	2	4	87.64	69.95
	大阪西北	49	51	0	3	1	2	4	88.48	79.66
	大阪そねざき	35	36	22	3	2	1	4	97.07	88.00
	大阪梅田	25	23	1	0	2	-2	4	90.34	72.00
大阪梅田東	25	31	0	8	2	6	3	83.69	68.85	
大阪ユニバーサルシティ	32	35	5	3	0	3	2	86.36	69.70	
小計	632	650	45	47	29	18		86.90	74.57	
I M 第6組	大阪	257	268	1	20	9	11	3	74.34	58.42
	大阪東	117	120	0	9	6	3	4	93.30	77.37
	大阪東淀ちゃやまち	30	30	3	1	1	0	4	95.24	92.86
	大阪城東	43	42	5	2	3	-1	3	92.36	82.19
	大阪中之島	27	28	2	2	1	1	4	79.47	74.10
	大阪大手前	35	35	5	2	2	0	3	95.07	75.77
	大阪城北	49	46	3	2	5	-3	4	74.52	73.12
	大阪天溝橋	68	66	0	2	4	-2	4	79.00	76.41
	大阪鶴見	32	31	0	0	1	-1	4	79.35	77.56
	大阪淀川	28	30	3	3	1	2	3	97.77	95.88
新大阪	32	33	1	2	1	1	4	87.88	81.06	
小計	718	729	23	45	34	11		86.21	78.61	
I M 第7組	大阪フレンド	25	29	4	4	0	4	4	83.93	66.07
	大阪御堂筋本町	61	60	3	2	3	-1	4	85.32	73.34
	大阪南	144	155	0	18	7	11	4	84.99	73.25
	大阪難波	46	52	0	6	0	6	4	80.35	73.96
	大阪なにわ	25	25	3	2	2	0	4	92.78	77.08
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	3	80.95	76.19
	大阪西南	98	101	21	5	2	3	4	94.26	74.26
	大阪船場	39	39	1	1	1	0	4	96.50	81.25
	大阪心斎橋	33	36	0	3	0	3	3	99.07	87.91
	大阪うつぼ	33	33	3	1	1	0	4	91.19	83.05
小計	519	545	38	42	16	26		88.93	76.64	
I M 第8組	大阪平野	32	30	2	1	3	-2	4	99.04	89.08
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	4	76.79	60.71
	大阪城南	53	51	0	3	5	-2	3	95.74	90.11
	大阪咲洲	18	18	1	1	1	0	4	83.33	65.27
	大阪天王寺	56	57	0	2	1	1	4	84.29	74.18
	大阪帝塚山	53	52	4	2	3	-1	4	83.89	75.10
	大阪東南	50	49	0	1	2	-1	4	97.96	69.99
	大阪アーバン	23	25	7	4	2	2	4	94.00	87.00
	大阪みおつくし	34	27	15	5	12	-7	4	64.81	62.96
	小計	333	323	32	19	29	-10		86.65	74.93

合計	クラブ名	7月期初 会員数	3月末 会員数	女性 会員数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3689	236	219	144	75	86.7	76.2

文庫通信 (319号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演他より

- 「戦国を生き抜いた知恵」 細川護熙 2013 7p (D.2650 地区大会記念誌)
- 「はやぶさプロジェクトの成果・教訓」 川口淳一郎 2013 4p (D.2820 地区大会記録)
- 「日本人の持つべき国家観について」 渡部昇一 2013 11p (D.2520 地区大会記録誌)
- 「世界の人々のために」 緒方貞子 2013 5p (第11回日韓親善会議報告書)
- 「これからの両国のきずな」 山東昭子 2013 5p (第11回日韓親善会議報告書)
- 「軍艦『筑波』—偉大なる航海(上)(下)」 岡村 健 2013 23p (福岡南RC月報)
- 「『がんばらない』けど『あきらめない』」 鎌田 實 2013 1p (D.2840 地区大会報告書)
- 「これからの生き方」 山田法胤 2013 2p (D.2700 地区大会の記録)
- 「人が動き街が動く～私のリーダーシップ論」
セーラ・マリ・カミングス 2013 21p (D.2800 地区大会記念誌)
- 「平和と命」 深川純一 2013 20p (第35回青少年指導者育成セミナー報告書)
- 「掃除実践60年の『人生と経営の哲学』」 鍵山秀三郎 2014 10p (D.2710 地区大会特集号)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

三 村 雄 太 郎 会 員 (枚 方 R C)

2014年3月15日 逝去 (享年75歳)

幹事、理事、ガバナー補佐、
IM実行委員長、米山奨学委員長、
ロータリー財団委員長、会員増強委員長

米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

平 川 恵 一 会 員 (大 阪 北 R C)

2014年4月6日 逝去 (享年86歳)

会長、社会奉仕担当理事、会員選考委員長、
職業分類委員長、
地区環境資源委員長、地区幹事

米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■ビジターフィー変更

大阪大淀ロータリークラブ (2014年4月より)

現行：4,800円 → 変更後：5,000円
(大淀ランチ、ミリオンランチについては 現行通り3,500円)

大阪城東ロータリークラブ (2014年4月例会より)

現行：4,600円 → 変更後：4,800円

大阪東淀ちゃやまちロータリークラブ (2014年4月例会より)

現行：4,500円 → 変更後：4,600円 (軽食時の3,500円は変更なし)

■メールアドレス変更

新大阪ロータリークラブ

shin-osaka.rc@blue.plala.or.jp

■ホームページアドレス変更

箕面ロータリークラブ

<http://mino-orc.net/>

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

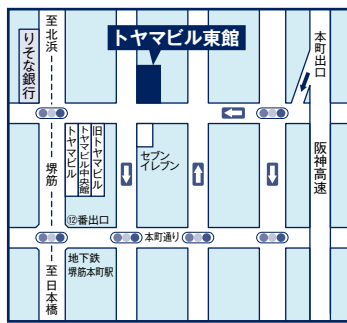
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。
最多 36名
詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp